

第 29 回 中小企業景況調査 (平成 23 年 4 月 6 月)

《調査結果の要約》

東日本大震災のため前期(1月 3月)は本調査を実施していません。従って、前期の数値は平成 22 年 10 月 12 月期を使用しています。

中小企業の業況は、悪化しています。

- ・全業種の業況判断 DI は、前期に比べマイナス幅が大きく拡大しました。(11.2 43.4)
- ・業種別にみると、以下のとおりです。
 - 6 カ月前から好転 : 飲食業
 - 6 カ月前から悪化 : 製造業、建設業、小売業(最寄品)、小売業(買回品)、サービス業

1. 全業種の業況判断 DI は、 43.4 (6 カ月前と比べ 32.2 ポイント)とマイナス幅が大きく拡大しました。
2. 設備投資件数は、20 件(6 カ月前と比べ+10 件)となりました。1 年前の 16 件との比較では増加しました。
3. 経営上の問題点(回答社数に対する比率)は、 需要の停滞:61%(6 カ月前と比べ+3 ポイント)(75 社)、 販売単価の低下・上昇難:27%(6 カ月前と比べ+1 ポイント)(33 社)、 利用者ニーズの変化:20%(6 カ月前と比べ 7 ポイント(24 社)の順です。

トピックス

- ・国内全産業の業況判断 DI は、 34.8 (3 カ月前と比べ 8.5 ポイント)とマイナス幅が拡大しました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 DI は、 56.3 (3 カ月前と比べ 7.5 ポイント)とマイナス幅が拡大しました。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が拡大、商業・サービス業でわずかにマイナス幅が拡大しました。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成23年7月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	14	13	17	26	30	22	122
回答率	93.3%	86.7%	73.9%	86.7%	81.1%	73.3%	81.3%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目

- (1). DIの状況について
自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index（デフュージョンインデックス・景気動向指数）の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・前期比；3ヵ月前（今回は6か月前）との比較
 - ・前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30% の場合、次のような計算になります。

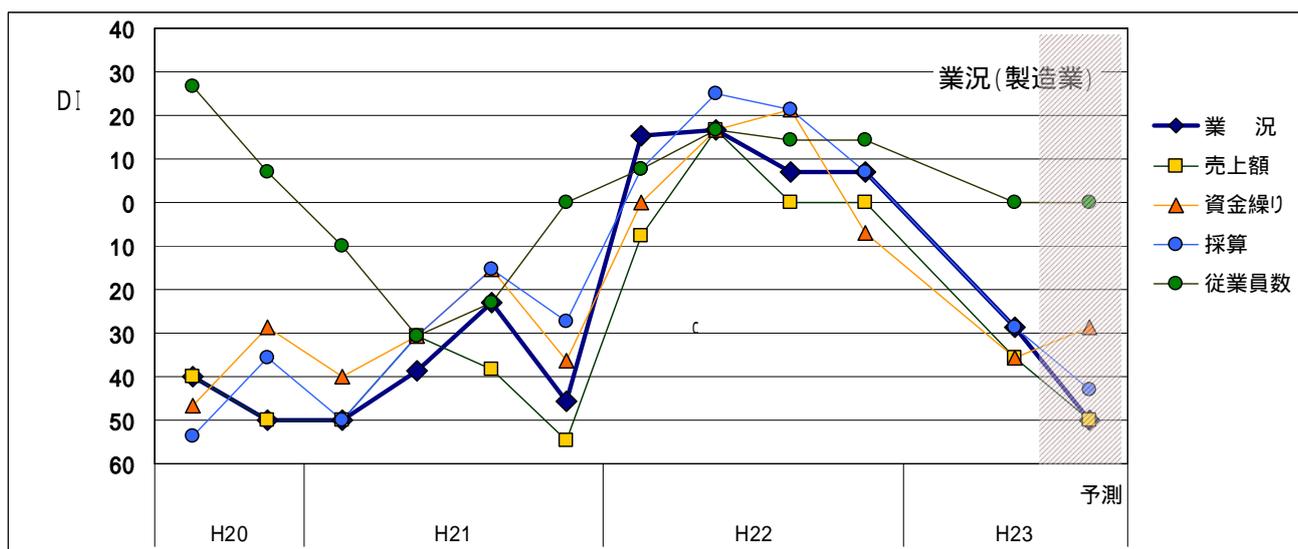
$$DI = 50 - 30 = 20$$

業種別

1. 製造業

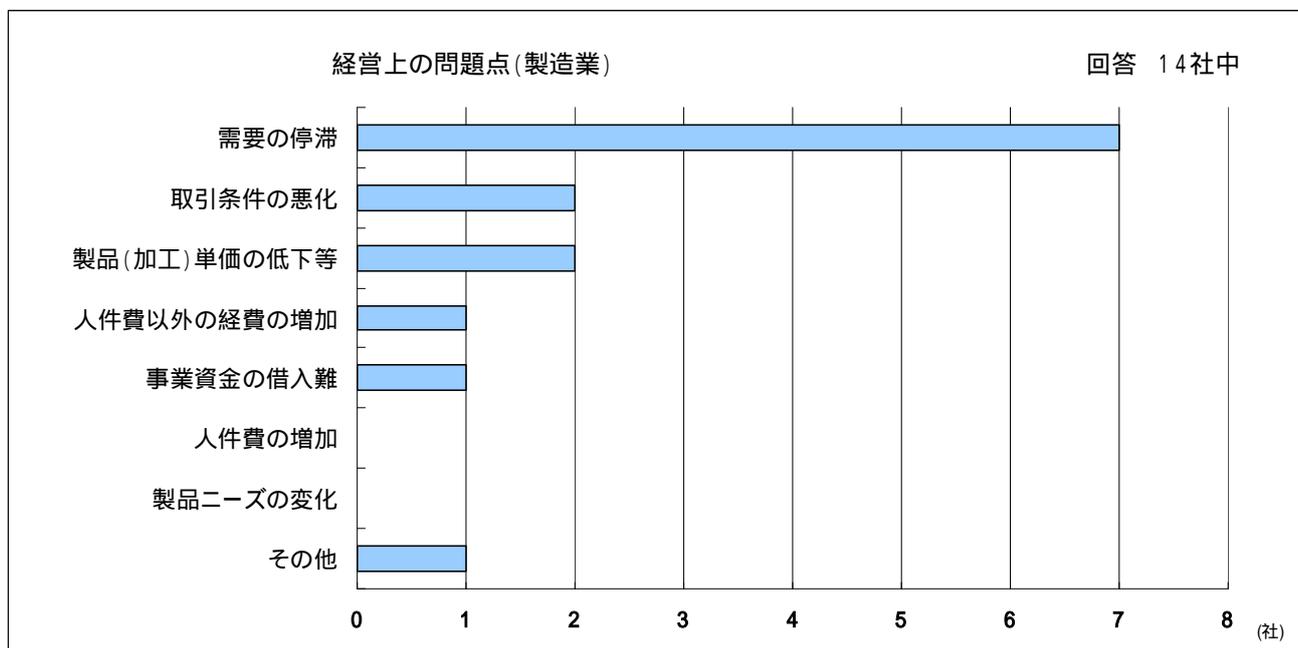
業況 DI

- ・業況判断 DI は 28.6 (前期比 35.7 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 50.0 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は 35.7 (前期比 35.7 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 50.0 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は 35.7 (前期比 28.6 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 28.6 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 28.6 (前期比 35.7 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 42.9 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比 14.3 ポイント) と人手不足感が無くなり、3 カ月先は ±0 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 2 件と車両運搬具 1 件です。

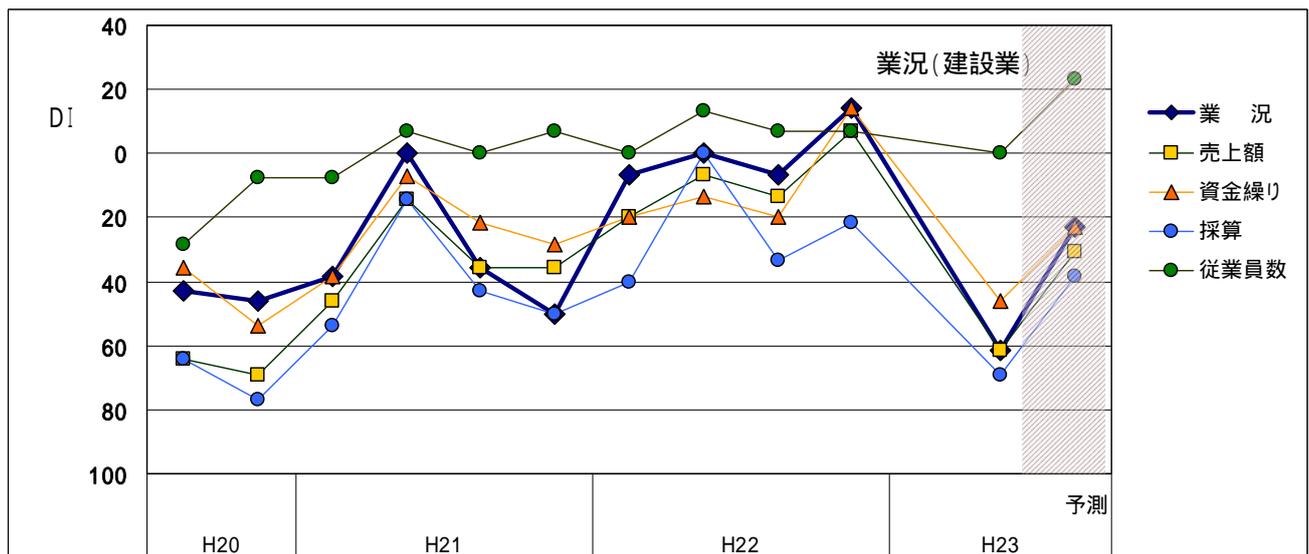
経営上の問題点



2. 建設業

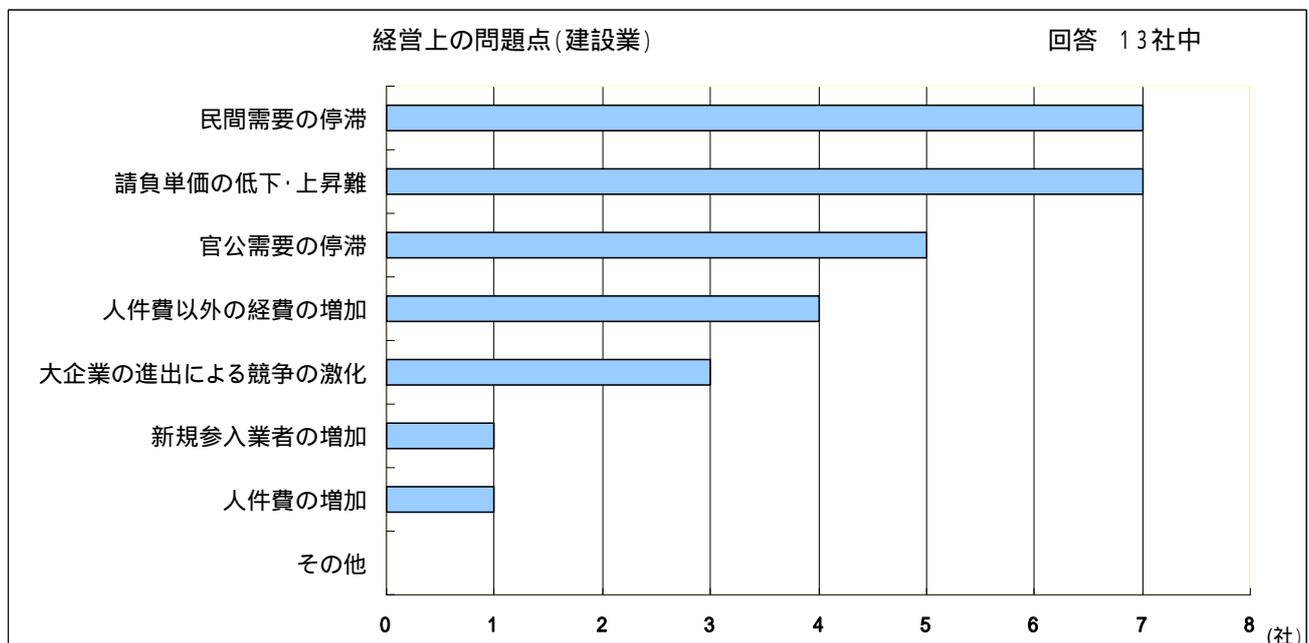
業況 DI

- ・業況判断 DI は 61.5 (前期比 75.8 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 23.1 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 61.5 (前期比 68.6 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 30.8 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 46.2 (前期比 60.5 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 23.1 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 69.2 (前期比 47.8 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 38.5 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比 7.1 ポイント) と人手不足感が無くなり、3 カ月先は +23.1 と不足感が強まる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数はO A 機器 1 件のみです。

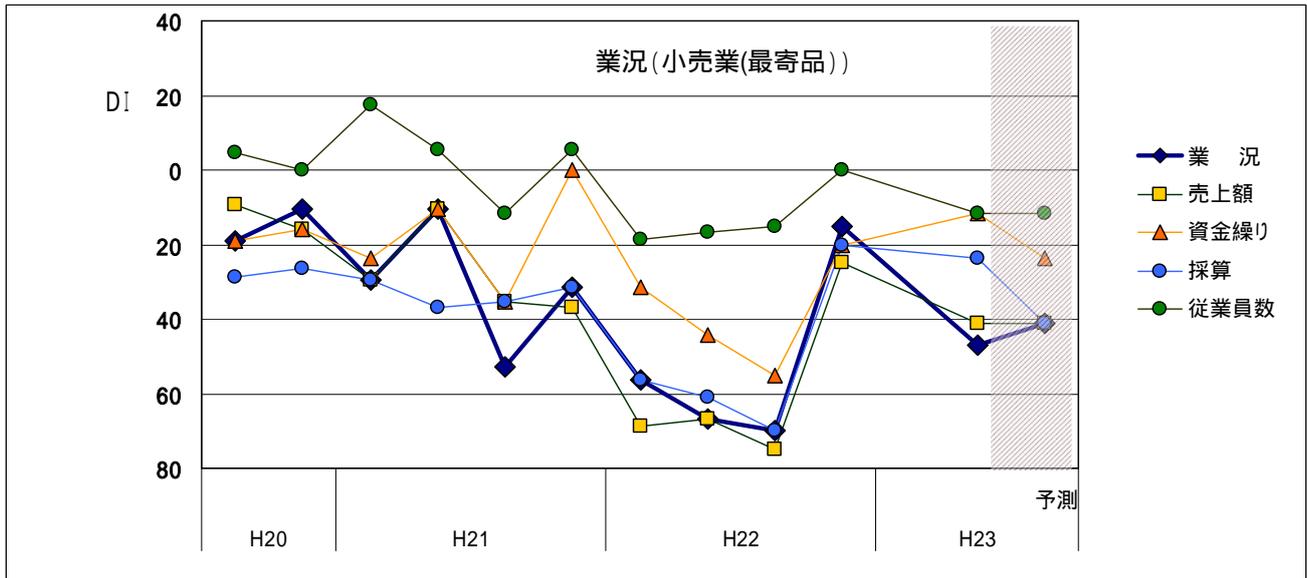
経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

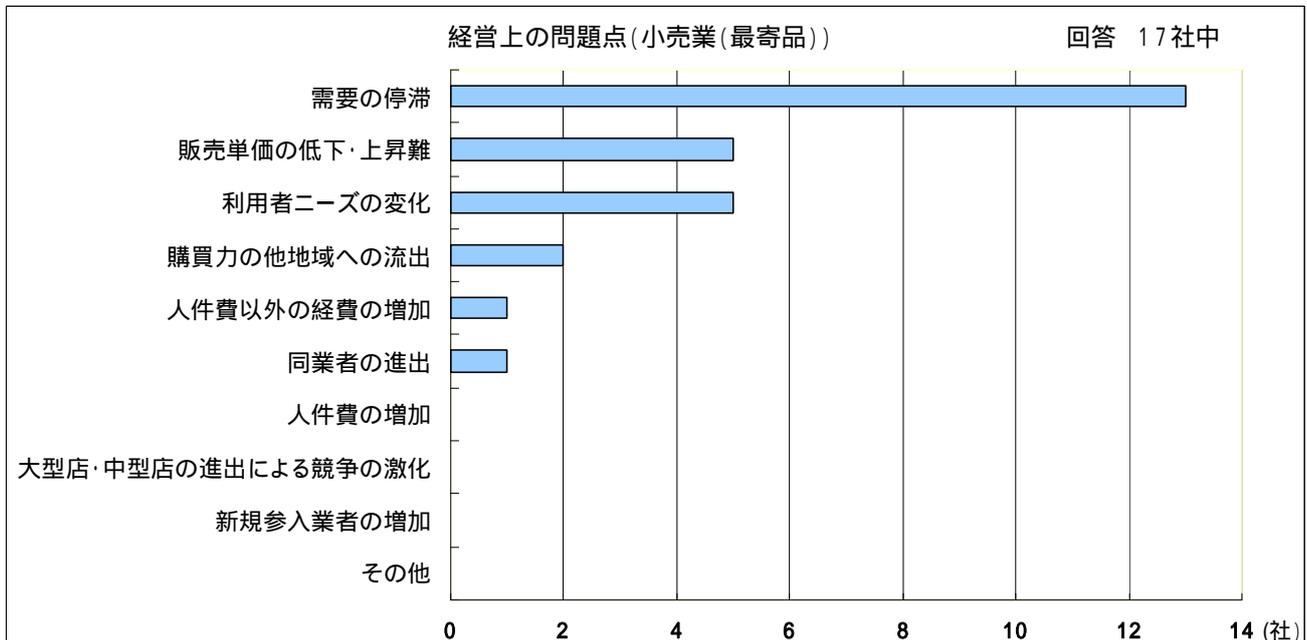
業況 DI

- ・業況判断 DI は 47.1（前期比 32.1 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は 41.2 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 41.2（前期比 16.2 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 41.2 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は 11.8（前期比 +8.2 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 23.5 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は 23.5（前期比 3.5 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3 ヶ月先は 41.2 と悪化の見通しです。
- ・従業員 DI は 11.8（前期比 11.8 ポイント）と人手過剰感が強まり、3 ヶ月先は 11.8 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 1 件のみです。

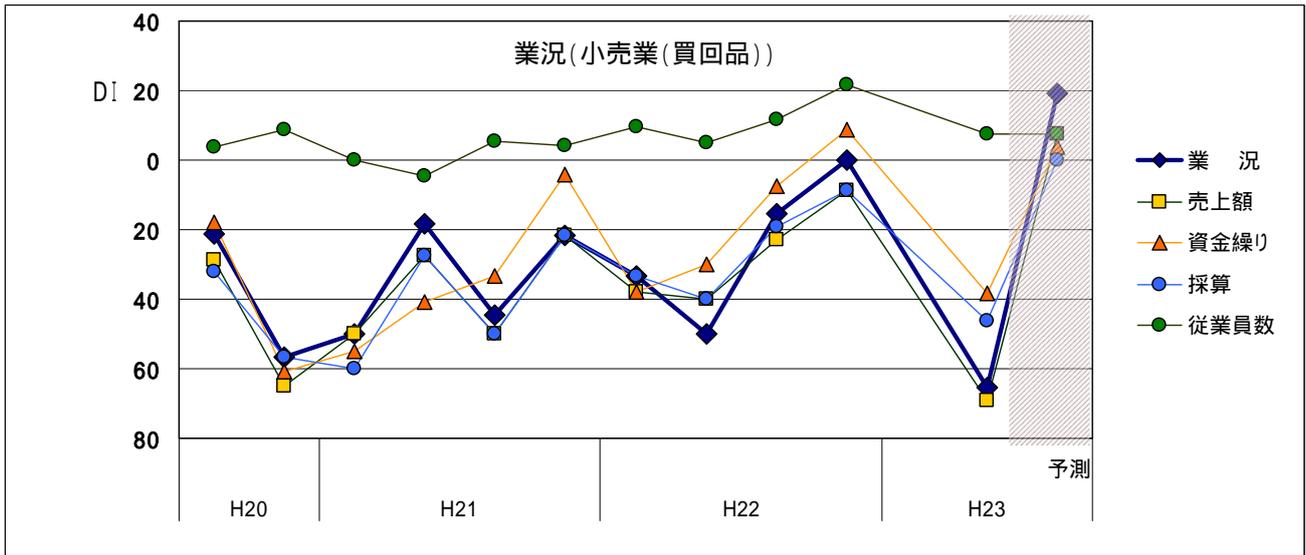
経営上の問題点



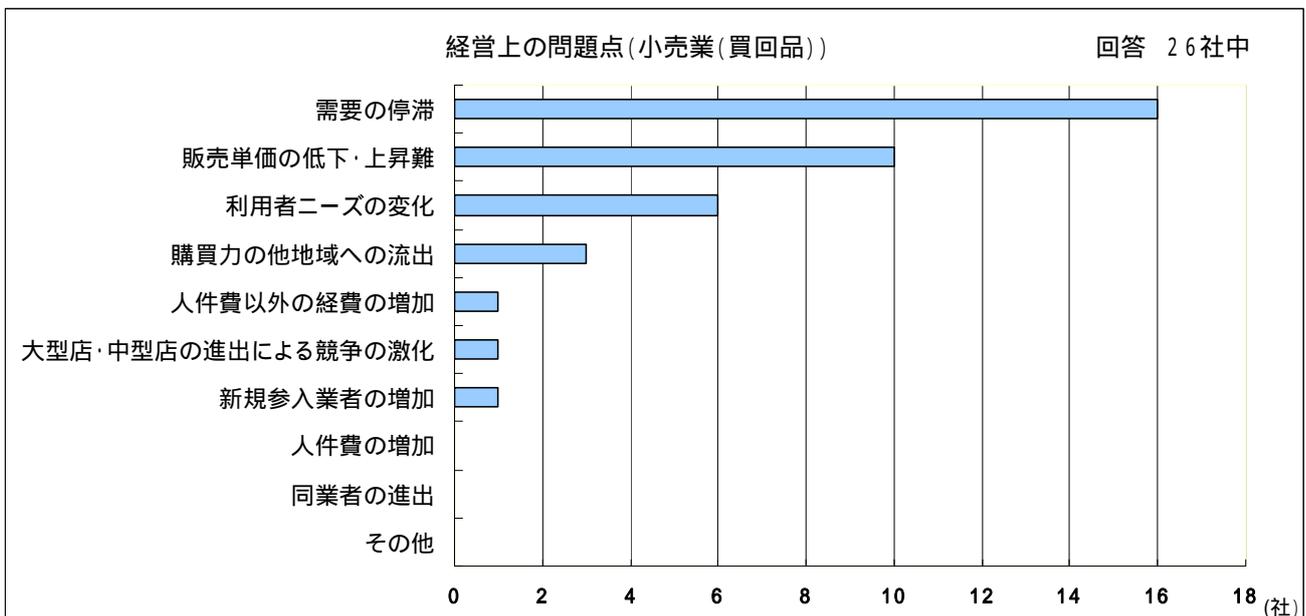
4. 小売業（買回品）

業況 DI

- ・業況判断 DI は 65.4（前期比 65.4 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は +19.2 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 69.2（前期比 60.5 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は +7.7 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 38.5（前期比 47.2 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は +3.8 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 46.2（前期比 37.5 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は ±0 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +7.7（前期比 14.0 ポイント）と人手不足感が弱まり、3 カ月先は +7.7 と横ばいの見通しです。



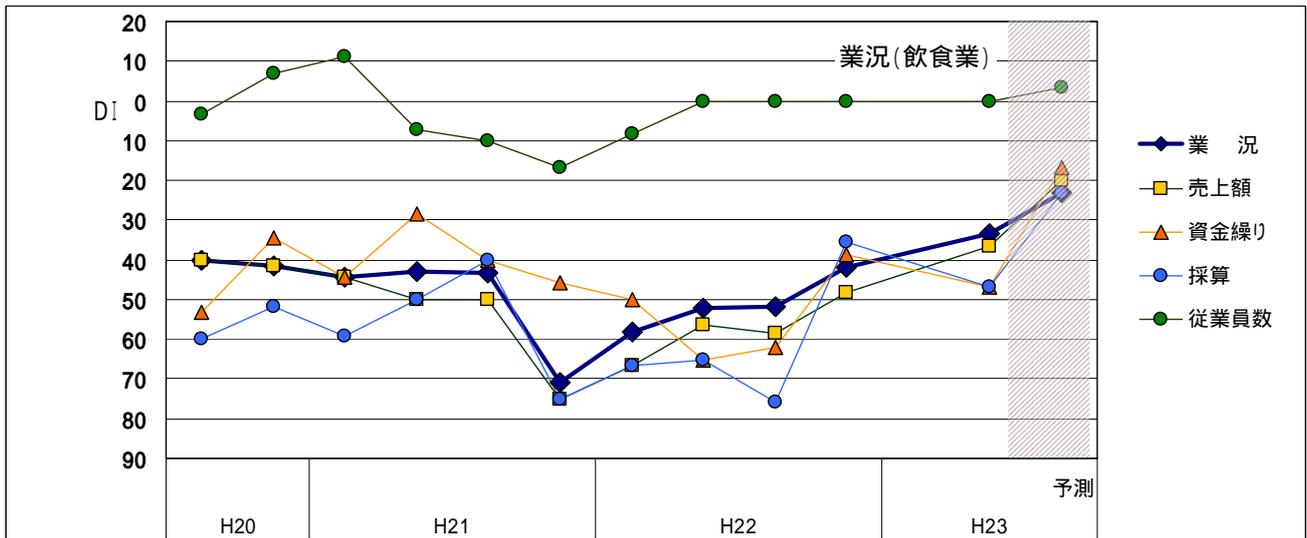
設備投資の動向 設備投資件数はOA機器、建物、その他各1件です。
 経営上の問題点



5. 飲食業

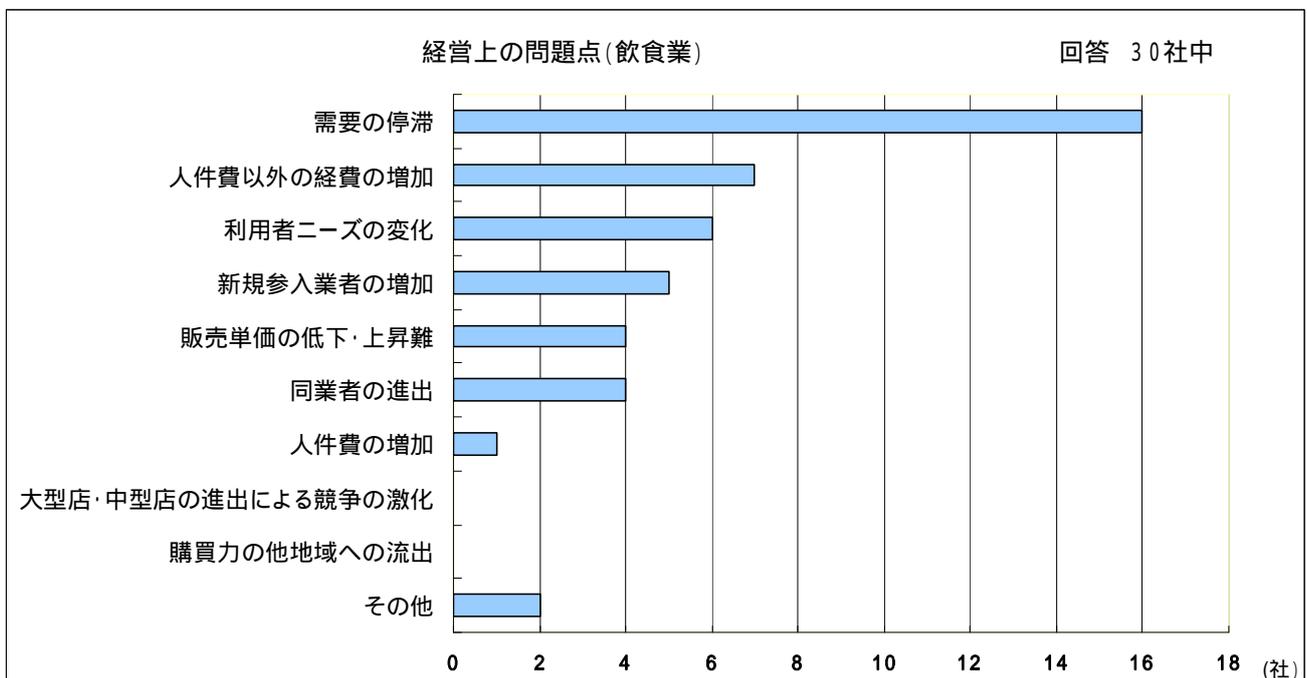
業況 DI

- ・業況判断 DI は 33.3 (前期比+8.6 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 23.3 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 36.7 (前期比 + 11.7 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は 20.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 46.7 (前期比 8.0 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 16.7 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 46.7 (前期比 11.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は 23.3 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は ±0 (前期比 ±0 ポイント) となり引き続き人手過不足感がなく、3 ヶ月先は +3.3 と不足感が生じる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は建物と機械設備各 2 件、O A 機器 1 件、その他 2 件です。

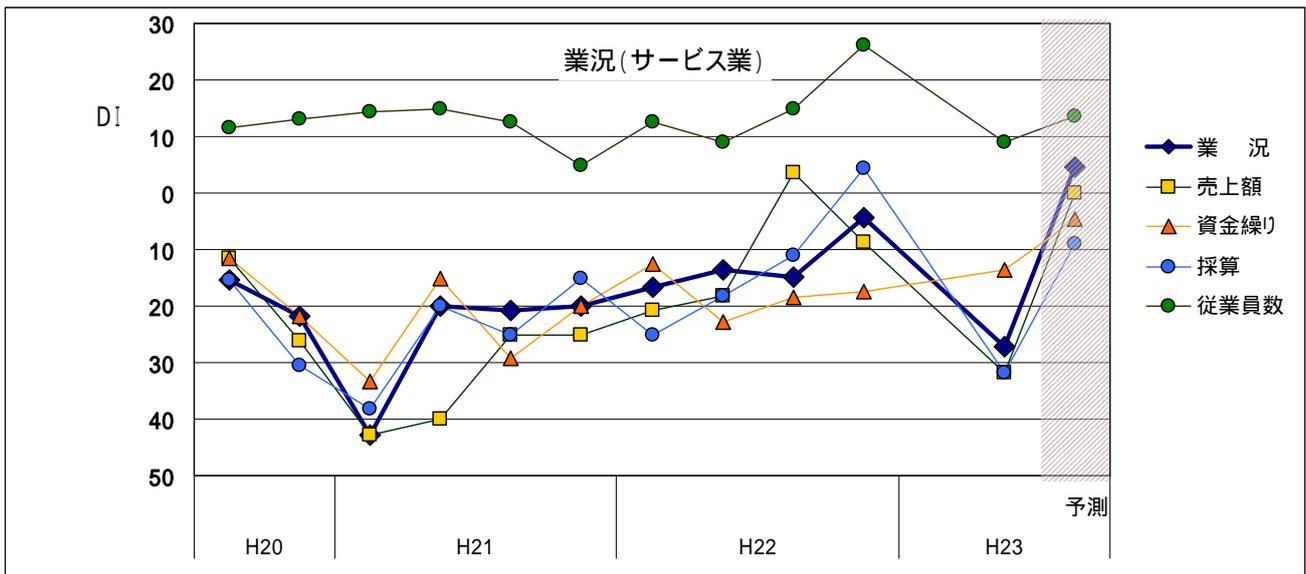
経営上の問題点



6. サービス業

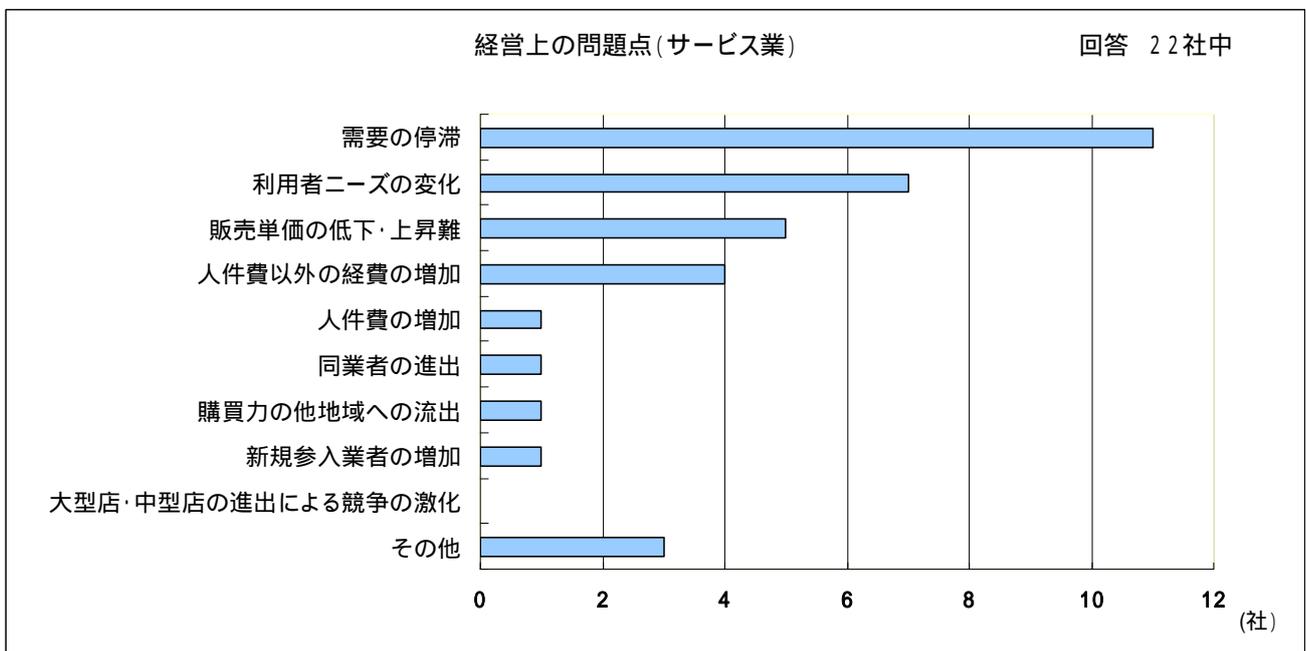
業況 DI

- ・業況判断 DI は 27.3 (前期比 23.0 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は +4.5 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 31.8 (前期比 23.1 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は ±0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 13.6 (前期比 +3.8 ポイント) とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は 4.5 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 31.8 (前期比 36.1 ポイント) とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は 9.1 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +9.1 (前期比 17.0 ポイント) と人手不足感が弱まり、3 ヶ月先は +13.6 と不足感が強まる見通しです。



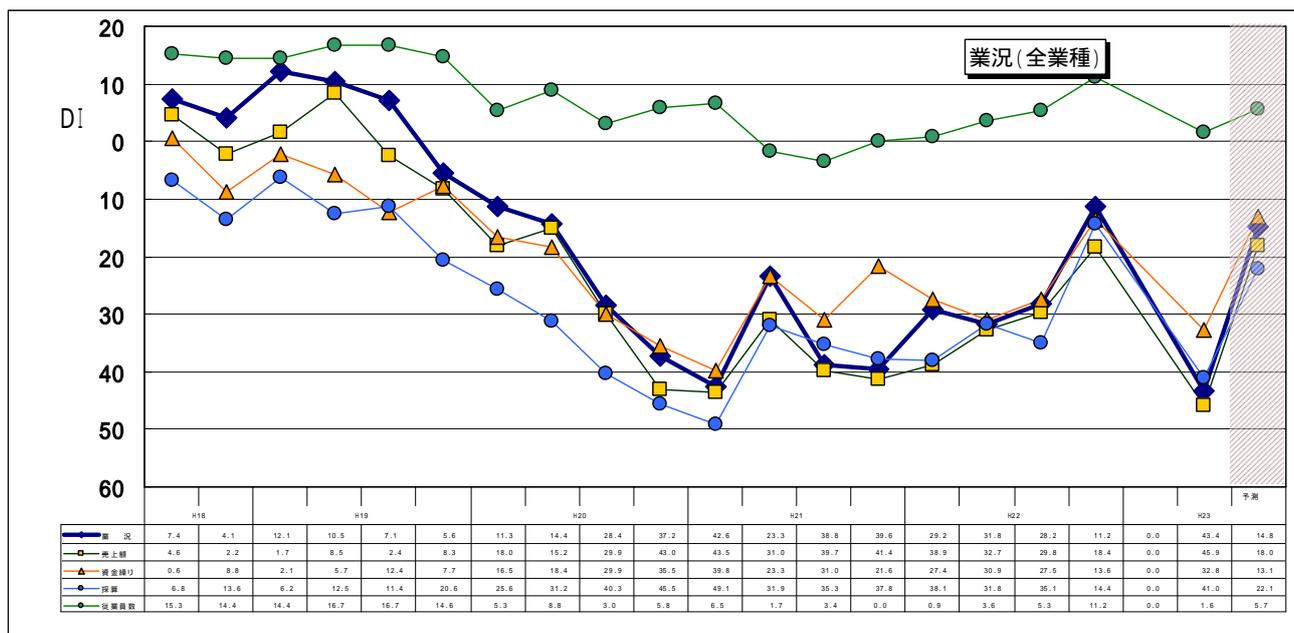
設備投資の動向 設備投資件はOA機器3件、機械設備1件、車両運搬具1件です。

経営上の問題点



《資料》5年分の推移

業況



雑談コラム

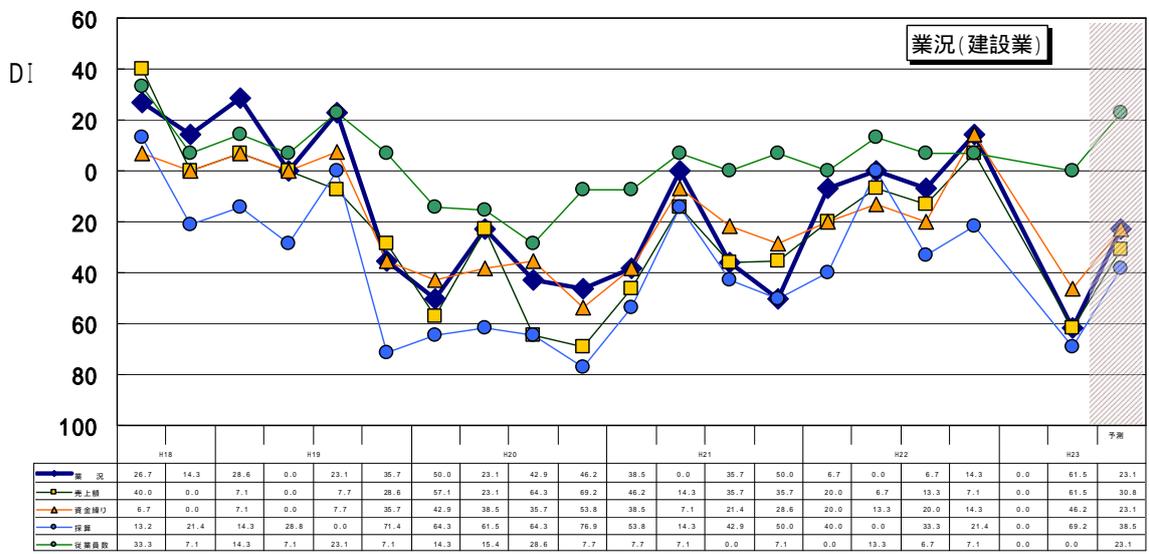
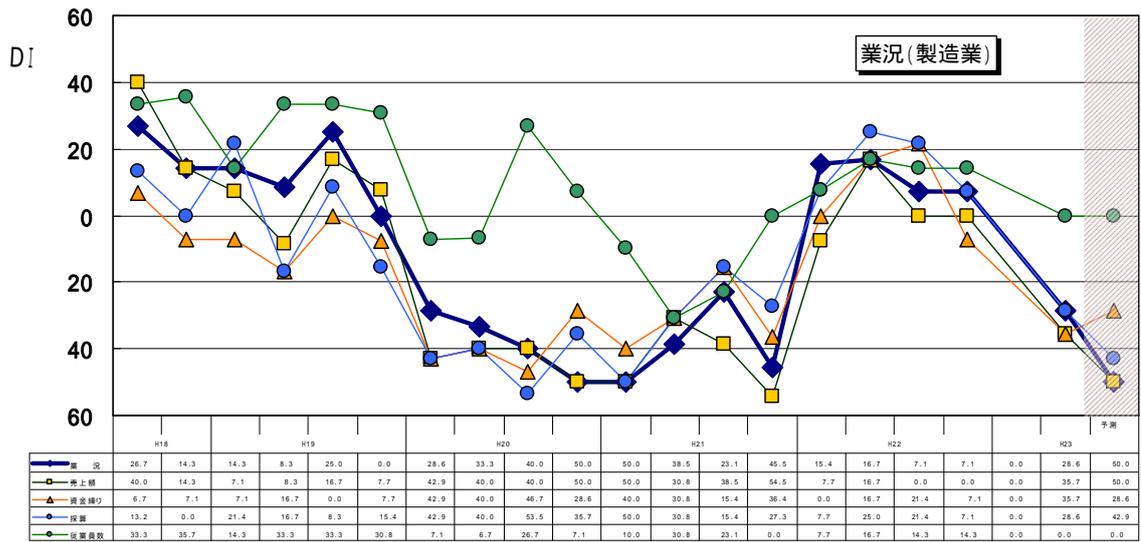
3.11 東日本大震災で、犠牲になった方は約 20,500 名、死者 15,688 名、行方不明者は 4,836 名（警察庁発表 8.5 現在）と痛ましい被害を受けた。その現場はどんな世界なのだろうか。見るだけで被災者には申し訳ないという気持ちを振り払って、8 月初め現場を見てきた。南三陸町、平和な町にいきなり地震が来て、津波警報。逃げなかった人、逃げ遅れた人は数多く犠牲になった。高台の高校から撮ったビデオは U チューブで流されて有名。町全体で残っているのは頑丈なコンクリートの建物だけ、たった 1 時間ほどで景色は一変してしまったのだ。

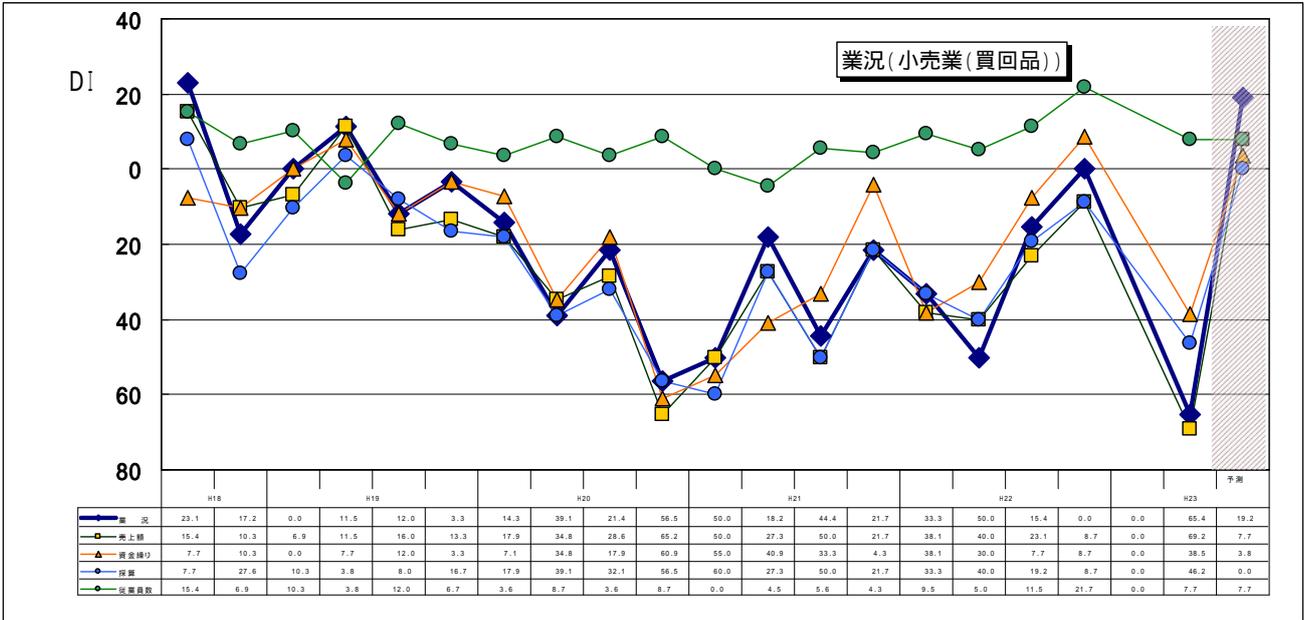
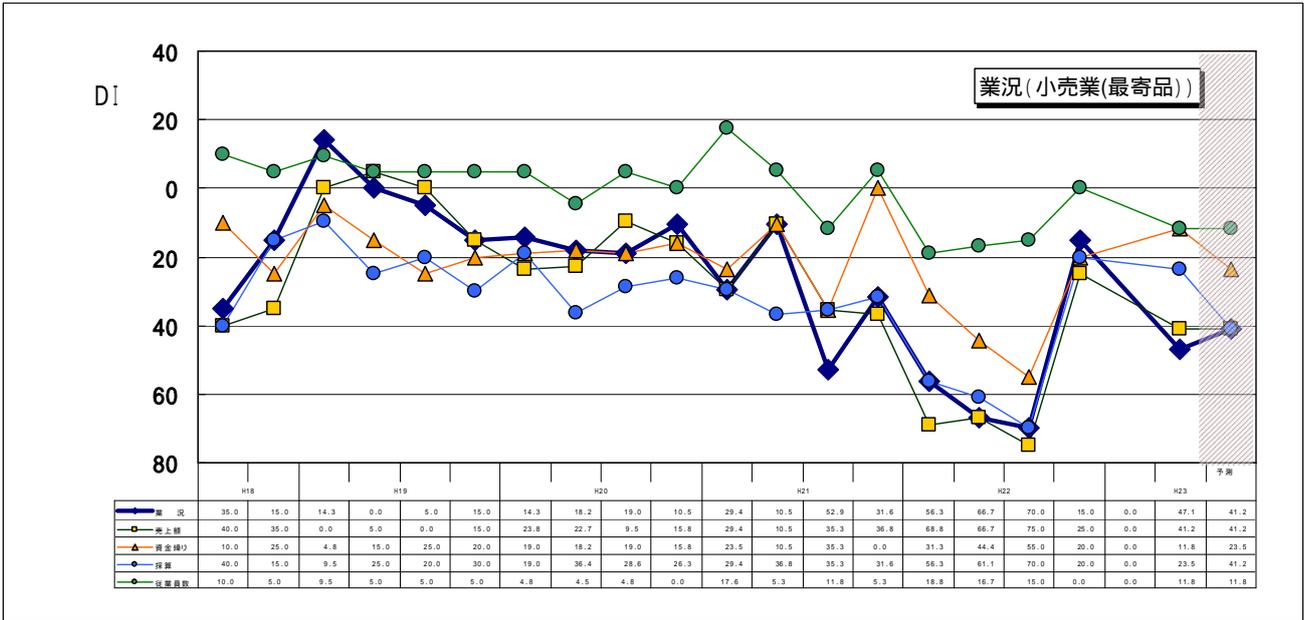
世界の中でも緑豊かな美しい国、日本。そこは地震国である。数 100 年に一度は大きな地震が発生し、津波、山崩れ、地割れ、液状化などの現象が副次的に起こる。そのリスクに備えるのが賢いのか、リスクを覚悟で今をよりよく暮らすのが賢いのかわからない。

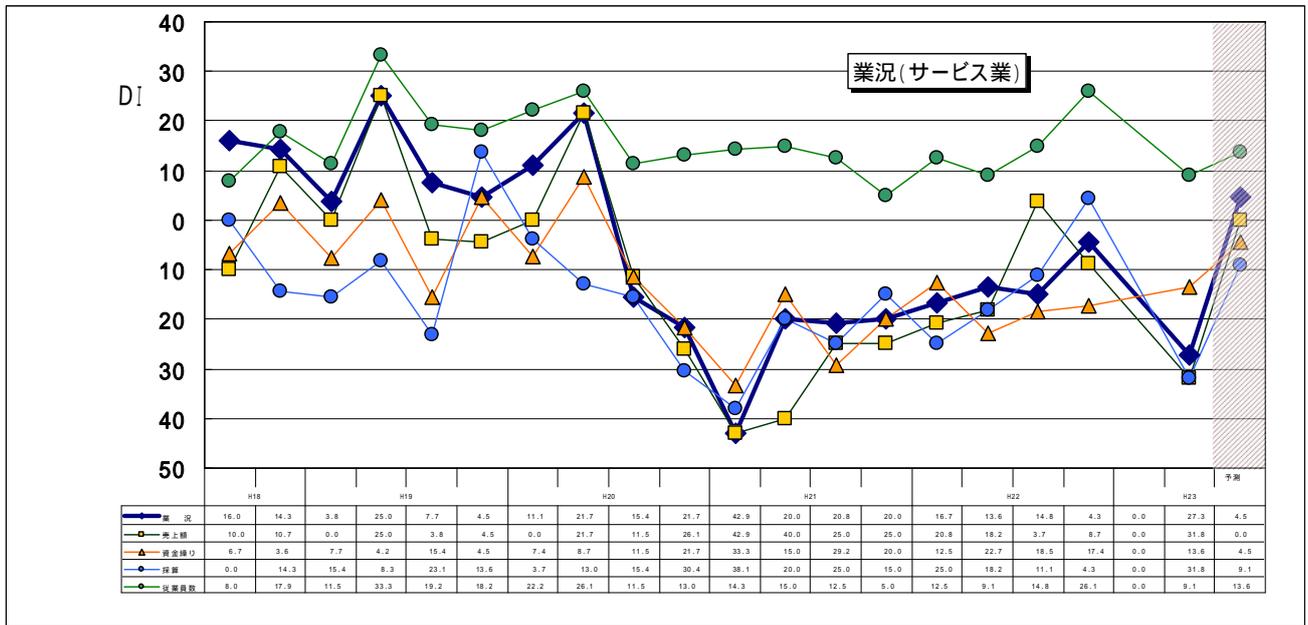
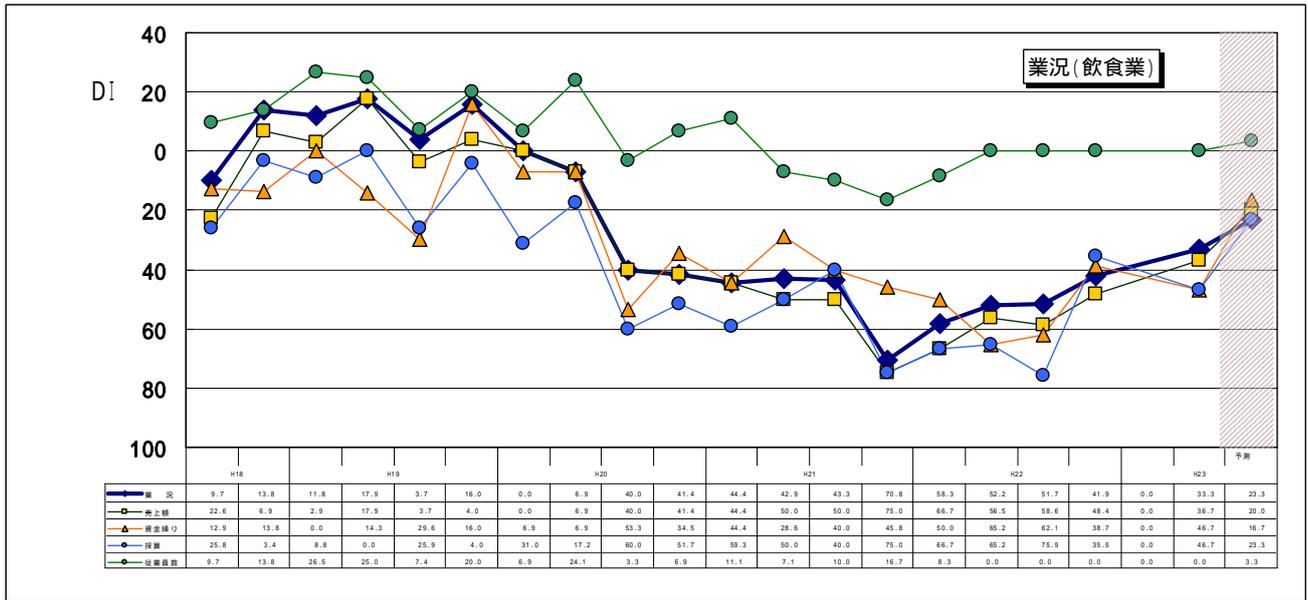
たまたま、震災に合われて財産をすべて流され、命を失った方々、心から冥福を祈ります。

今なお続く、福島第一発電所の放射能恐怖、これは人工的な創造物であるゆえに、地震と津波が直接原因であるといえども、一工夫しておけば避けられた。徹底的な原因究明と再発防止を望みたい。問題と正面から向き合おう日本。

（TM 中小企業診断士）







設備投資

全業種	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	15	11	2	13	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	6	4	—	8	3
機械設備	9	10	3	10	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	1	1	—	3	5
車両運搬具	12	4	5	9	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	6	1	—	3	6
建物	6	9	4	3	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	4	3	—	3	2
子の他	1		4	2	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2	1	—	3	1

製造業	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3	2		2		2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	—	2	1
機械設備		2	1	1		1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	—	0	2
車両運搬具					1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	—	1	0
建物					1		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	—	0	0
子の他						1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0

建設業	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3			2	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	—	1	0
機械設備				1		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	—	0	0
車両運搬具			1	4	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	—	0	1
建物		1	1	1	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	1
子の他			1			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	—	0	0

小売業 (寄商品)	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	1	1	1	3	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	—	0	1
機械設備	1	1	1	3	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	1	0	1	—	0	2
車両運搬具	3	2	1	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	—	1	2
建物	2	2	1			1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	—	0	0
子の他							0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	—	0	0

小売業 (買回品)	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	4	3					0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	—	1	1
機械設備		1				1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	—	0	0
車両運搬具	2	1	2				1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	—	0	1
建物		1	1	2		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	—	1	1
子の他				2			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	1

飲食業	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3	2	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	1	—	1	0
機械設備	4	4		4	6	5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	0	—	2	0
車両運搬具	3	1	1	2	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	—	0	1
建物	4	3	1		4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	3	—	2	0
子の他	1	0	3				2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	—	2	0

サービス業	H18		H19				H20				H21				H22				H23		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3	3	0	4	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	0	—	3	0
機械設備	2	2	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	—	1	1
車両運搬具	2			2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	—	1	1
建物		2					0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	—	0	0
子の他							0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	—	0	0